

2024 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

2 中期的目標

1. 建学の精神を土台とした私学の独自性
 - (1) 建学の精神の理解と実践と教育計画の構築
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり
 - (1) 基礎学力の徹底
 - (2) 独自のカリキュラムづくり
 - (3) 教員の指導力向上
3. 自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成
 - (1) 基本的生活習慣の育成
 - (2) 規律遵守の向上
4. 社会性を培う集団活動の充実
 - (1) 社会性や市民性を育む体験活動
5. 主体的な生き方の尊重
 - (1) 主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成
6. 安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実
 - (1) 防災教育・不審者対策
 - (2) 危機管理と情報モラル
 - (3) 美化
7. 内部連携の強化
 - (1) 内部連携の強化
8. 生徒募集の対策
 - (1) 生徒募集対策

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
1. 建学の精神を土台とした私学の独自性	建学の精神の理解と実践と教育計画の構築	①職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。 ②小学校教育指針に基づく教育計画の構築し、実践します。	①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) ②年間教育計画に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3)	
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり	(1)基礎学力の徹底	一人ひとりの興味関心を大切に、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。	保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度 4.2) 学力向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)	
	(2)独自のカリキュラムづくり	①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちがわかりやすい授業を実践します。 ②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。 ③児童自身が考え、提案し、自発的に運営していけるクラブ的な活動(Enjoy 活動)をさらに精選し、構築していきます。	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.4 以上、児童 4.5 以上に向上します。 ②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)	
	(3)教員の指導力向上	①教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。 ②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上を目指します。	①計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4) ②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 4.0 以上を目指しま	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
			す。(令和5年度3.5)	
3. 自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成	(1)基本的生活習慣の育成	<p>①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。</p> <p>②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の8意識を育みます。</p>	<p>① 礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和5年度4.2)</p> <p>② 保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.6 以上に向上します。(令和5年度4.5)</p> <p>主体性重視に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和5年度4.4)</p>	
	(2)規律遵守の向上	規律遵守の意識レベルの向上を図ります。	<p>児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童 4.6 保護者 4.3 以上に向上します。(令和5年度児童4.5 保護者4.2)</p> <p>規則を守る態度に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和5年度4.4)</p>	
4. 社会性を培う集団活動の充実	社会性や市民性を育む体験活動	<p>①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。</p> <p>②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。</p> <p>③低学年(2年)の宿泊行事を企画し、それぞれの学年における体</p>	<p>①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童 4.5 保護者 4.4 以上に向上します。(令和5年度児童4.4 保護者4.3)</p> <p>学習意欲の向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和5年度4.5)</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践していきます。</p> <p>また、体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。</p>	<p>③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者 4.7 以上、児童 4.9 以上に向上します。(令和 5 年度児童 4.8 保護者 4.6)</p>	
5. 主体的な生き方の尊重	主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成	<p>①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。</p> <p>②人権教育 人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。また、いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)</p> <p>②人権意識向上に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3)</p>	
6. 安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実	(1) 防災教育・不審者対策	<p>児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討し、訓練を実施し、校内の安全性を高めます。</p> <p>また、災害に備えて備蓄品を整えます。</p>	<p>緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3)</p>	
	(2) 危機管理と情報モラル	<p>①自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立てます。</p> <p>②「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。</p>	<p>①防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 月年度 4.5)</p> <p>②マナー・モラルに関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
	(3)美化	<p>①落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。</p> <p>②子どもに好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画するとともに、老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。</p>	<p>①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.1 保護者 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度児童 3.9 保護者 4.2) 美化に関する教職員の自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 5 年度 4.1)</p> <p>②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度保護者 4.2) 好ましい環境に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 5 年度 3.6)</p>	
7.内部連携の強化	内部連携の強化	<p>①中学校 小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における 9 カ年の小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します 授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 幼小連絡会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。 絵本読み聞かせや合同物作り</p>	<p>①令和 5 年度は、中学内部進学者 56 名(62%)でした。(91 名中)(令和 6 年度中学入学者) 令和 6 年度学園中学進学は、内部進学者 70%以上を目標とします。 また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。</p> <p>②令和 5 年度(令和 6 年度生)は、幼稚園からの内部進学者は 34 名でした。 令和 6 年度(令和 7 年度生)は、内部進学</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>体験を設け、小学校の活動に親しんでもらい、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p>	<p>者 45 名以を目標とします。</p>	
8. 児童募集の対策	児童募集対策	<p>①学校ホームページや広報活動(パンフ配布)などの活動を拡充します。</p> <p>外部幼稚園や幼児教室での入試説明会や体験授業の実施し、外部からの受験者増加につなげます。</p> <p>②外部幼稚園や幼児教室への広報活動を拡充します。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 5 年度 4.0)</p> <p>②令和 5 年度(令和 6 年度入学生)は 79 名でした。(令和 6 年 1 月現在)</p> <p>令和 6 年度は集定員充足 90 名以上を目標とします。</p>	